

【新型コロナウイルス感染対策について】

<全体>

- ①選手、保護者、教員、外部コーチ、審判は必ず体温測定を行い、体調がすぐれない、発熱がある、風邪等の症状がある場合は参加しない。
- ②選手は大会3週間前に同意書を配布する。同意書の提出があった生徒に体調記録表を配布する。体調確認表は大会前2週間の体温、大会当日の体温を記入させる。大会当日提出用は、顧問が集約し、大会当日に本部へ提出する。
- ③会場内へ入る時は必ず「手洗い」「消毒」を行う。試合間も同様に行うこと。
- ④会場内では、マスクを着用させること。（マスクがない生徒は会場に入れない）
※競技中の選手は、熱中症予防の観点からマスクを外して行わせる。
（ラインズマン、記録、得点、ベンチ、応援(保護者も含む)はマスク着用。)
- ⑤試合終了後、会場（ドアノブ・手すり等）、共有するもの（ボール、トイレ、水道等）の消毒を行うこと。
- ⑥試合や審判の生徒以外は指定の場所で待機する。密集を避けるため、体育館内にいないように指導を行う。また、応援についても試合をしていないチームの関係者はすみやかに体育館を退出する。
- ⑦必ず換気を行うこと。開閉可能な窓や扉は全て開け、換気を行う。試合間は、カーテンを開け、十分に換気を行う。

<開始式・表彰式>

- ①開始式では、マナーチェックと生徒への連絡事項を伝える。集合する際には、1メートル以上の間隔をあけて、チェックを受けること。また、前日に顧問によるマナーチェックも行っておくこと。当日違反があった場合は、専門部長に連絡し、大会会長に連絡を入れる。その後、当該中学校長と協議を行う。前日に違反があった場合は、当該校長と協議の上、出場する場合は出場願いを提出する。
- ②試合終了後、表彰を行う。

<試合>

- ①試合間に消毒を行う。内容は、試合球、得点板、記録席、ベンチ、審判台、ラインズマンフラッグ。次の試合で審判を行うチームの顧問が行う。
※コートチェンジの際には、マネージャーがベンチの消毒を速やかに行い移動する。
- ②ベンチ入りは、校長・教員・部活動指導員と選手12名・マネージャー。ベンチ入りできない生徒はベンチの反対側のフロアにて1m以上の距離をとって整列し、応援する。
- ③中央中会場2階ギャラリーでは、約1m間隔をあけて観戦する。密になる場合は、人数制限を行う場合がある。（会場に入場を許可されるのは、選手の家族のみとする。）ただし、河東中会場では2Fギャラリーがないため、生徒は応援席で1m程度間隔をあけて応援する。保護者は、1Fの指定された場所で1m程度間隔をあけて応援する。
- ④試合開始の挨拶については、アタックライン上で握手なしで行う。コート内でのハイタッチ、円陣を組むなどの行為はしないこと。